

# エネルギー管理 解析支援ツール

工場内のエネルギーデータからムダを発見！  
省エネだけでなく生産コストの削減につなげる！

## 概要

### エネルギー管理の課題とは



エネルギーデータを  
活用できていない

- ・バッチ製造番号や品種、設備毎等省エネ施策に合わせて柔軟に省エネ傾向を見える化したい。
- ・これまで蓄積したエネルギー関連のデータをうまく活用したい。



エネルギー管理業務が  
属人化してしまっている

- ・エネルギー管理用のデータにまとめる作業に多くの時間を費やしている。
- ・エネルギー管理をベテラン従業員に頼っており技術継承したい。



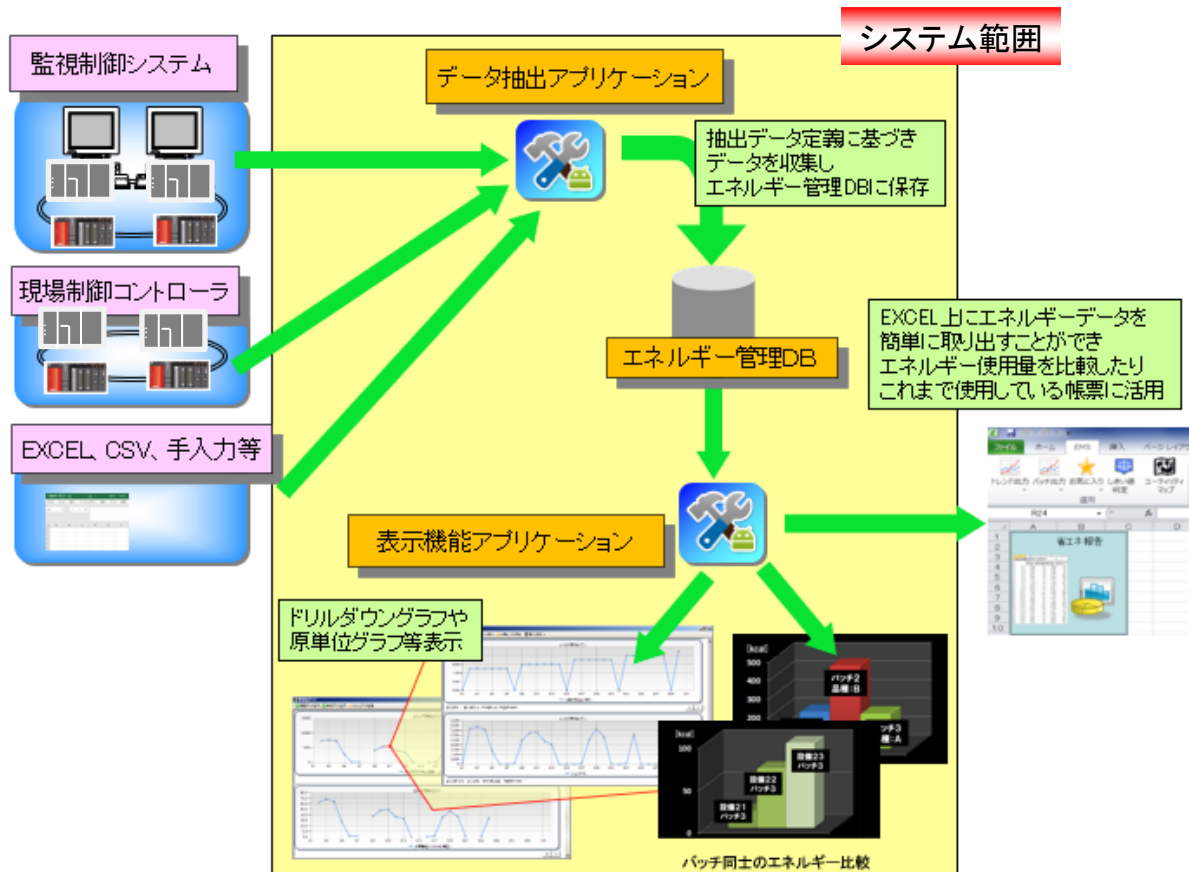
省エネの情報共有が  
できていない

- ・部門によって、省エネ意識に温度差がある。
- ・エネルギー消費データの見える化により部門間で連携し、効果的な省エネ施策を実現したい。

### エネルギー管理 解析支援ツール とは

「製造関連データ」「エネルギー関連データ」等、お客様の工場で収集しているあらゆる種類のデータを組み合わせ、効果的な省エネ施策や、月締め管理のサポート、これらを行う上で必要となる目標管理と省エネ効果の定量化を行います。バッチ毎、製造列毎、設備毎といった任意の切り口で省エネ解析を支援いたします。

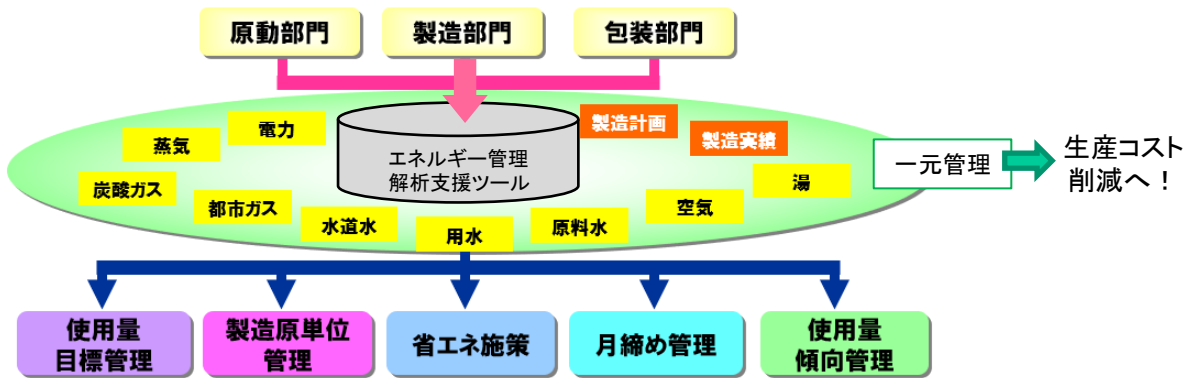
## 特長



## 導入効果

導入前	導入後
製造ライン毎や製品品種毎でのエネルギー原単位を算出したいが難しかった。	ライン毎、品種毎など、任意の切り口の見方がボタン1つで出力できるようになった。ツール上だけでなく、EXCEL上でもグラフを出力でき、簡単にカスタマイズできるようになった。
エネルギー管理データの集計作業に時間がかかっていた。また、月締め管理などの業務は属人化してしまっていた。	工場全体のデータをエネルギー管理用のデータにまとめ直して保存しているため、簡単な手順でデータ抽出が可能になった。月締め管理などの帳票も簡単な手順で作成可能になり、属人化が解消できた。
部門間で省エネ情報の共有が図れず、省エネ意識の温度差が生まれて、効率的な省エネ活動ができなかった。	金額換算値等の定量的な見える化が簡単な手順で行えるため、エネルギー管理担当者以外にも、省エネ効果がわかりやすくなった。

## データ活用例



## 導入事例

### ●事例①：製造バッチ毎の原単位推移から「ムダ」を削減

**①気づき**  
製造原単位の品種別の変動に着目。特定の品種で原単位が悪化しているということはないか？

**②現状解析**  
悪化しているバッチ原単位を、ドリルダウンで解析。個別設備でのエネルギー消費の悪化が判明。

5年前のトレンドと比較して傾向を分析

**③改善**  
装置のフィルタ交換作業漏れが判明。装置を適切な状態に復旧。

**④効果確認**  
当該品種のみを抽出した原単位を、改善前と改善後で比較して、原単位の改善効果を確認。

改善効果をグラフ化

### ●事例②：生産設備の稼働タイミング改善による「ムダ」の削減

**①気づき**  
生産設備の余熱を1時間以上前に開始していたが、最適な時間に開始できないか？

**②現状解析**  
設備データを製造情報と併合して現状分析した結果、生産開始の60分前には準備完了していることが判明。

製造情報とエネルギー使用量を結合して分析

**③改善**  
余熱開始を、操業や品質に影響の無い範囲で生産開始の30分前に見直し。

**④効果確認**  
改善前と改善後の原単位を比較し、差分を金額換算して省エネ効果を算出。

改善効果を金額に算出して明確化

## 株式会社 TMEiC

本社：〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン  
URL <http://www.tmeic.co.jp>

●本カタログのお問い合わせ

営業窓口 Tel:03-3277-4991 Fax:03-3277-4574  
技術問い合わせ Tel:03-3277-4440 Fax:03-3277-4572

メールアドレス [info-A70-food@tmeic.co.jp](mailto:info-A70-food@tmeic.co.jp)

・EXCELは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
・その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。  
・記載されている会社名および製品名などには、必ずしも商標表示(®、™)を付記していません。  
・本カタログに記載された内容および製品仕様は、予告なく変更することがあります。

⚠ 安全に関するご注意

正しくお使いいただくために  
ご使用前に必ず「取扱・操作に関する説明書」を  
お読み下さい。